MELON 情報紙

Miyagi Environmental Life Out-reach Network

2015年９月★第114号

エネルギーの大切さを親子で楽しく学びました！

「親子でソーラーカーを作ろう！ in 仙台」
日時：7月21日（月・祝）10:00～12:00
会場：フォレスト仙台第2フォレストホール

「親子でソーラーカーを作ろう！ in 気仙沼」
日時：7月25日（土）10:00～12:00
会場：気仙沼市みやぎ生協集会室　ぽけっと

○×クイズは正解者続出！

気仙沼でも子どもたちはソーラーカーを夢中で走らせていました

今年は初めて気仙沼市でも開催でき、会場は夏休みに入ったばかりの子どもたちと保護者のみなさんで熱気が溢れていました。自然エネルギー○×クイズでは、省エネルギーや地球温暖化に関する問題を出題しました。全問正解者が続出し、景品のベガルタ仙台のうちわをもらって子どもたちは大喜び。太陽光パネルを利用したソーラーカー作りでは、普段忙しいお父さん、お母さんと一緒に親子仲良く時間を過ごしていたのがとても印象的でした。

MELONとは 公益財団法人 みやぎ･環境とくらし･ネットワーク――通称『MELON』。1992年の地球サミットをきっかけに翌'93年に誕生しました。緑と水と食をとおして環境とくらしを考え、地域と地球環境に寄与しようと多くの市民、学者、知識人、協同組合、企業、団体で作られたNGO（非政府組織）です。地域と地球環境を守るため１人ひとりの参加と協力をつなぎます。

MELON会員募集

MELONの活動は会員の会費で支えられています。
MELON会員特典
- MELON主催イベントに会員割引で参加できます。
- ごみや水、緑や食、自然エネルギーや企業の環境の取り組みなどをテーマに勉強会や見学会を行う部会に参加できます。
- ボランティアや部会に参加することにボランティアポイントが１個もらえ、５個集まると1,000円分のMELON商品券と交換できます。
- 年５回の情報紙をお届けします。
- メールアドレス登録で、会員同士の情報交換ができるメーリングリストに登録できます。

～入会希望の方は事務局までお問合せください～

Index

P1　エネルギーの大切さを親子で楽しく学びました！
P2　仙臺農塾　大人の食育プロジェクト
　　沿岸地域の復興と「水の神さま」
P3　「宮城県産材を使用した地球環境に優しい住宅の模型とパネル」作成！
　　秋はコンポスター式生ごみ堆肥をはじめるチャンス☆
P4　MELONcafeプチ講座
　　かんきょう見聞記ー涙のとまらない家族愛ー
P5　協同組合からのお知らせ
　　目指せ100人！環境リレートーク　清水冬音さん
P6　ストップ温暖化センターみやぎ通信①
P7　ストップ温暖化センターみやぎ通信②
P8　トピックス／イベント一覧／編集後記

仙臺農塾　大人の食育プロジェクト

第9回「豚と暮らす～放牧と美味しいお肉の関係～」
日　時：5月27日（水）19:00～21:00
ゲスト：高橋精一さん（米農家、酪農家、獣医）
会　場：長町遊楽庵びすた～り（太白区長町3-7-1）

高橋精一さんのお話に、
会場は笑いが絶えませんでした

高橋さんの農場は大崎市田尻の眺めの良い丘陵地帯にあり、250頭ほどの豚が飼育されています。生後70～250日くらいの間飼育していますが、最初は環境に慣れさせるため屋内で休ませ、その後広大な農場で自由気ままな生活をさせているそうです。

もともと猪である豚は、草や木の根、昆虫などを食べますが、高橋さんの豚は土をよく食べるそうです。「私の土地がみなさんの血や肉になっている」という言葉がとても印象に残りました。

「豚が好きなようにさせている」、「朝晩様子を見に行って、してほしそうなことをしてやるだけ」。その言葉が、アニマルウェルフェア※につながり、美味しいお肉につながっているのだと感じました。

※「快適性に配慮した家畜の飼養管理」と定義される。人間が動物に対して与える痛みやストレスといった苦痛を最小限に抑えようという考え。

第10回「脱サラ農家奮闘記～雑草と育つ固定種野菜～」
日　時：6月24日（水）19:00～21:00
ゲスト：中山 建（はじめ）さん（自然農場　風天）
会　場：畑のあぐり
（青葉区中央1-10-23大成GSビルディング5F）

非農家出身で農業経験がない中、脱サラし、震災直後に新規就農。「固定種※・在来種」「農薬・化学肥料不使用」「少量多品目」にこだわり、農業を営んでいる中山さん。その畑は雑草で覆われていましたが、それらは抜かずに刈ると言います。雑草には保水効果があり、干ばつの時でもある程度水分を保持してくれるそうです。また、野菜の旨味も強くなる気がするとおっしゃっていました。

熱い想いの中山建さんはオレンジ色のTシャツがとても似合います

青臭いけど濃い味、上品じゃないけど辛くてうま味がある昔ながらの野菜が消えていくことに疑問を持った中山さん。そういったことを知らない人たちに、虫食いがあったり辛いかもしれないけど、昔はこういう味だったということを伝えたい。そういう熱い思いで育てられた野菜は、とても力強い味がしました。

※伝統野菜・地方野菜などと呼ばれ、地域の風土の中で何世代にもわたって選別・淘汰され、その地域に合った種として固定化したものを指す。

沿岸地域の復興と「水の神さま」

地域の人々が水と深く関わってきた歴史を読み解く鍵となるのが、「水の神さま」です。MELON水部会では、水の神さまを放置すれば、かつての人々の水への思いを後世に伝えられなくなるとの危機感から、広瀬川や江合川などで調査を行ってきました。

東日本大震災は、水の神さまにも影響をもたらしました。鳥居や石碑が倒壊したものや、沿岸部では流されて跡形もなくなったものもありました。2014年、水の神さまの再建が遅れていることから沿岸地域の調査を行ないました。

気仙沼「五十鈴神社」、南三陸「荒澤神社」「荒島神社」「上山八幡宮」、石巻「大島神社」、東松島市「白髭神社」、仙台市「浪分神社」「八大龍王碑」「五柱神社」「淵上蛸薬師瑠璃光如来堂」、名取市「湊神社・富主姫神社」、亘理町「浪切地蔵尊」の計12神を調査し、報告書にまとめました。由緒や周囲の様子、震災とその後の様子、地域の人々との関わりを、神社の神主や総代長、町内会長から直接お話を伺い、その思いも掲載しています。

神社等の祭事が地域コミュニティに重要な役割を果たしていること、その再興がコミュニティの復活に結びつくこと。そして、その歴史文化を継承していくことの重要性を再認識しました。地元にひっそりとたたずむ神社や石碑に今一度目を向けてみませんか。

（ご希望の方に報告書を配布しています。お問合せはMELON事務局まで）

「宮城県産材を使用した地球環境に優しい住宅の模型とパネル」を作成しました！

震災後に立ち上げたMELON版復興住宅検討委員会。活動は一定の役割を果たしたため、第5期（2015年7月）から「エコ住宅部会」として新たに活動を開始しています。

太陽光発電・太陽熱温水器、
薪ストーブを設置し、断熱性の高い住宅
（三浦秀一教授自宅）

これから建築される住宅がより環境に配慮された仕様になるように、模型とパネルを作成しました。2つの模型のモデルのうち１つは、東北芸術工科大学の三浦秀一教授の自宅、もう１つは株式会社建築工房零の小野幸助代表取締役の自宅です。どちらも薪ストーブを設置しており、季節の自然採光を計算して設計されています。

また、パネルは①県産材を利用した木造住宅の推進を基本とすること②省エネルギーと環境負荷の低減に貢献すること③緊急時・災害時のエネルギー確保に配慮すること④再生可能エネルギーの導入を考慮することの４点を基本的な考え方としています。

太陽熱ソーラーシステム、
薪ストーブ・薪ボイラー、雨水利用トイレ設置
（小野幸助代表取締役自宅）

模型とパネルは、石巻市のみやぎ生協文化会館「アイトピアホール」に10月末頃まで展示しています。

MELON版復興住宅検討委員会で作成した小冊子『杜に住まうエコな家。～宮城県産材を使った木造住宅のススメ～』も無料で配布していますのでご希望の方はMELON事務局までお問い合わせください。

お庭・畑があるかた必見 秋はコンポスター式生ごみ堆肥をはじめるチャンス☆

大きなバケツをひっくり返したような形のコンポスター、始める時期に適しているのは落葉の季節、秋です。電気も使わず、細かな手入れが必要ないので、面倒なことが嫌いな方にも適しています。失敗が少なく、虫や臭いが発生しにくい方法を簡単にご紹介します。

■準備するもの

- コンポスター（3,000円～ 12,000円程度）
  ※畑3坪あたり150L 容器1個が目安
- シャベル
- 落ち葉（45L 袋1 ～ 2袋）
- 米ぬか
- 乾いた土（畑の土でOK）

■設置のしかた

日当たりと水はけのよい場所に設置しよう。

①設置したいところに落ち葉を敷く。土を薄くかぶせる。

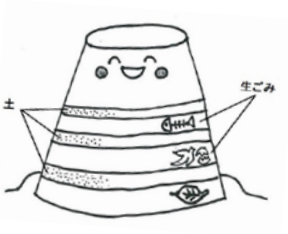
②その上に容器を置き、中に落ち葉を10 ～ 20cm詰め、土を薄くかぶせる。

③容器の周りに土をかぶせて飛ばされないよう踏み固める。

ポイント 絶対にコンポスターの下は掘らないこと！水がたまって失敗のもと。

■生ごみの入れかた

①コンポスターに直接入れず、コンポスターの外で、生ごみ・米ぬか・土を混ぜる。バケツ１杯の生ごみに対して、米ぬかカップ１、土はごみの半量くらい。



②混ぜたものをコンポスターに入れたら、平らにならし、ごみが出ないよう土をかぶせる。

③満杯になるまで入れられる。

■使い方

水分が多いようなら、フタを取り、布をかぶせて日光浴をさせましょう。

分解しにくい骨や貝、生魚のワタや腑、食べ物以外は混ぜないようにします。

満杯になったら、生ごみを完全に分解させるため、土をかぶせます。夏は２週間、冬は2 ヶ月ほど寝かせましょう。

今始めれば、来年の春には元気な堆肥で花や作物が育てられます。もっと詳しく知りたい！という方には、コンポスター式生ごみ堆肥化の手引きを送付しています。

MELONcafe

日時：6月20日（土）13:30～15:30
「リメイクキャンドル作り」

「オシャレですぐにできるエコ」を体験し、おしゃべりできるプチ講座。6月は、カラフルなリメイクキャンドル作りをしました。結婚式などの使用済みキャンドルを寄付していただき、リユースしています。燃えるごみとして捨てられていたかもしれないたくさんのキャンドル。溶かしてクレヨンで色を付け、バットで冷やし固めて賽の目状に切り、小さな紙コップに色とりどりのキャンドルを詰めて固めれば、オリジナルキャンドルの完成です。紙コップも、イベントできき水したものを洗って乾かし再利用。捨てる前にもうひと働きしてもらいました。

キャンドルを溶かしたり、クレヨンを削ったり、皆で協力して3色作成♪

世界に一つだけのオリジナルキャンドル☆色選びは真剣でした！

なぜキャンドルをコンロで溶かすという暑い作業を6月に？と思う方もいるかもしれません。MELONは「100万人のキャンドルナイト」に参加しています。夏至と冬至の日に、20時～22時の2時間、電気を消してキャンドルの明かりで過ごしてみようという呼びかけです。電気を消して、スローな夜を楽しんでみませんか？

9月は着古した着物の生地と牛乳パックをリユースしてオシャレなカードケースを、10月は古着をリメイクしてネコのブローチを作ります。ブローチの作り方をマスターして、自分の愛猫デザインで作ってみるのもおもしろいかもしれません。

今後のMELONcafeプチ講座

■9月26日（土）13:30～14:30
「オシャレで簡単♪着物のカードケース作り」
■10月31日（土）13:30～15:30
「古着をリメイク♪ネコのブローチ作り」

涙のとまらない家族愛
映画篇②

韓国映画
「国際市場で逢いましょう」
石垣政裕（MELON理事）

釜山市の地下鉄一号線をチャガルチ市場駅で降りる。海のにおいのする道路の向かい側には、活きのいい魚が所狭しと並べられ、買いもの客で混み合うチャガルチ市場があります。そこから山側へつまさき上がりの道を歩いて行くと宝水洞（ボスドン）古本屋街があり、私は釜山に行くたびに、この古本屋街で本を漁り、コーヒーを飲みます。

地下鉄駅から古本屋街までの間にあるのが、何でも売っている国際市場です。人混みを覚悟しなければならないほどの「熱い」町です。

釜山の市場を舞台にした韓国映画、ユン・ジェギュン監督「国際市場で逢いましょう」を見ました（７月26日、フォーラム仙台）。日本の植民地支配から開放されたのに、今度は朝鮮戦争のときに北から攻めてくる軍隊が釜山まで届こうとしました。市民は逃げ惑い、離ればなれになる家族の悲劇がありました。そしてそのような苦悩の歴史の中でも家族を思う人々の強さが語られます。

さて、この映画には主人公ドクスが新聞に募集が出ていた炭鉱労働者として西ドイツに渡り、家族に仕送りをしている場面が出てきます。当時、西ドイツでは炭鉱労働者の高齢化と労働の厳しさによって労働者不足となり、韓国では1963年から約8千人ほどが炭鉱労働者として、1万人ほどが看護婦として働くために西ドイツに渡っています。実は日本からも1957年から400人を越える炭鉱労働者が西ドイツのルール地方へ渡っていたのだそうです。世界のエネルギーが石炭から石油へと転換が始まろうとしていたときでした。労働環境の悪い地下1,000mの炭坑で危険と隣り合わせの仕事に従事しました。それでも、韓国国内の6倍もの収入があり、それを韓国に送り届け、家族を支え、外貨獲得を支えていました。いまでは自然エネルギー利用の先端を行くドイツのかつてのエネルギー政策を支えた歴史が見えます。

各協同組合からのお知らせ

MELON の協力団体である各協同組合が取り組んでいる、環境に関する情報をご紹介します。

～みやぎ生活協同組合～

秋の森を楽しもう！

1.「こ～ぷの森　永倉山」

泉ケ岳のふもとにある永倉山でツル切りや、切り取ったツルでリース作りを行います。

日　　時：9月26日（土）9:20 ～ 16:00（帰着予定）
集　　合：仙台駅東口貸切バス発着所　9:20集合
募集人数：30名
参 加 費：大人1,500円、中学生以下500円、未就学児無料
持 参 物：昼食・飲料・軍手・敷物・雨具・帽子、
　　可能な方はノコギリ、剪定ハサミ
申込締切：9月16日（水）

申込方法　企画名、名前、住所、電話番号を明記してハガキ、FAX、メールのいずれかでお申込ください。
申し込み・問合せ先　みやぎ生協生活文化部
〒981－3194　仙台市泉区八乙女4－2－2
TEL：022-218-3880　FAX：022-218-3663
eメール：sn.mkankyouk@todock.jp

2.「こ～ぷの森　向大倉山」

大倉ダムの水源の森、向大倉山でネイチャーゲームや森の実クラフト作りなどを行ないます。親子での参加歓迎！

日　　時：10月24日（土）9:00 ～ 15:30
開催場所：こ～ぷの森向大倉山、大倉ふるさとセンター
集　　合：仙台駅東口貸切バス発着所　9:00
　　現地集合の場合
　　大倉ダム湖畔公園駐車場　9:45
募集人数：30名
参 加 費：バス乗車　大人1,000円、中学生以下500円
　　現地集合　大人500円、中学生以下250円
持 参 物：昼食・飲料・軍手・敷物・雨具・帽子、
　　可能な方は剪定ハサミ
申込締切：10月14日（水）

目指せ100人！
環境リレートーク

第57人目の執筆者
清水　冬音さん
（森のようちえん虹の森）

森のようちえんの園舎は、森。晴れの日も雨の日も、森で過ごし、さまざまないきものや発見に出会いながら、挑戦したり失敗したり、たくさんの経験を通して、自分で考え判断できる人を育てることを目指しています。そのために、大人は過度に関わらず、こどもたちから発せられる気持ちや言葉を待つ、という関わり方をしています。長野県や鳥取県を始めとして、全国的に活動が広がっている幼児教育のひとつです。

虹の森は、2013年に仙台市内の公園や森を中心に活動を開始、現在は週3日、多賀城の森にて通園型のようちえんの活動をしています。また、七北田公園や泉ヶ岳でも活動している他、母団体である「くりこま高原自然学校」では、栗駒山のブナの森で、月1 ～ 2回、休日に森のようちえんの活動を行っています。

それぞれのフィールドに特徴があり、こどもたちの遊び方や発見も少しずつ違います。しかし、フィールドは違っても幼少期から身近な自然に触れることで、その後の人生の中で自然のことを考える機会も増えるのでは、と考えています。また、森の中で活動することで、森の整備を必然的に行うことになります。まだ始まったばかりの活動ですが、こどももおとなも育ち、森も育つ、そんな場所にしていけたらと日々活動しています。

<連絡先>
森のようちえん虹の森
住　　所：〒981-3225　仙台市泉区福岡字西森下39-13
T E L：022-343-6479
メ ー ル：nijinomori@kurikomans.com

… 次号執筆者紹介 …
平間徹也さん
（株式会社ざおうハーブ）

ストップ温暖化センターみやぎ通信　Vol.70

エコドライブは嬉しい効果がいっぱい
～みやぎエコドライブ実践プロジェクト2015始動～

宮城県の一般家庭におけるCO_2排出源で最も多いのは、「自家用車（36.6%）」（2014年度宮城県うちエコ診断実施結果より）。車社会の宮城だからこそ、エコドライブの取り組みが大切です。

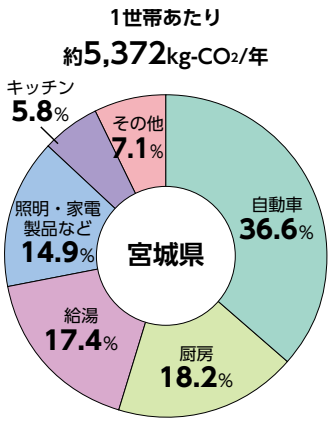
エコドライブを実践することで、「CO_2削減」だけでなく、「燃料（ガソリン）代の節約」や、急加速・急減速・速度超過といった危険運転を防ぐことによる「安全運転・事故防止」という、一石三鳥の効果が期待できます。

昨年実施した「みやぎエコドライブ実践プロジェクト2014」では、企業や一般市民のべ218名が参加し、4.8t-CO_2の削減効果がありました。2年目となる今年も、県内における自動車からのCO_2排出量のさらなる削減を目指します。

伊達武将隊もエコドライブに挑戦！

この事業のポイントは、県内で活動する団体・行政・企業等と連携し、地域に根差した活動によってCO_2削減を目指すこと。今年は新たに2団体が加入し計10団体と、さらにパワーアップしたコンソーシアム（共同事業体）によって、エコドライブセミナーや、昨年好評だったエコドライブシミュレーター体験会を開催していきます。9月には、ストップ温暖化センターみやぎウェブサイトに、プロジェクト専用ページを公開する予定ですので、そちらもぜひご覧ください。

家庭からのCO_2排出割合（用途別内訳）



データ元：2014年度うちエコ診断結果

推進員だより No.18

夏も地域イベントも本格化！温暖化防止の呼びかけもさらにアツく！

海の日を含む7月の3連休。推進員さんと一緒に、2つのイベントにブース出展をしました。

学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ2015
日時：7月19日（日） 9:00～16:00
会場：東北大学川内北キャンパス
内容：省エネゲーム、「○○ボックス」、「手回し発電で動くぬいぐるみ」
活動した推進員：川村真貴さん、今野勇さん、佐々木義朗さん、千葉きえ子さん

エコチャレンジフェスタinユアスタ仙台
日時：7月19日（日） 16:30～19:00
会場：ユアテックスタジアム仙台
内容：エコドライブシミュレーター、うちエコ診断、省エネアンケート
活動した推進員：稲田陽一さん、井上正志さん、薄井聡さん、小室正博さん、西村和敏さん

推進員グループ「太陽と私」が中心となって出展しました。推進員自身で作成したツールの大活躍で、小さい子どもから大人までたくさんの方に立ち寄っていただき、大いに盛り上がりました！

旬の野菜について勉強中

同日行われたサッカーの試合にあわせてのイベントだったため、来場者のほとんどはサッカーチームのサポーター。サッカーの話題も交えながら、アツい人々を相手に、アツく温暖化防止を呼びかけました。

「どんな省エネ行動してるかな？」
ベガっ太君にも答えてもらいました

家庭の省エネ・省CO_2対策のプロを目指す！ うちエコ診断士等養成研修開催

日　時：第1回 7月 5日（日）10:00～16:30
　　第2回 7月12日（日）10:00～16:30
会　場：宮城県庁内会議室
講　師：一般社団法人　地球温暖化防止全国ネット
　　川原博満さん
受講者：6名
主　催：宮城県
運営事務局：ストップ温暖化センターみやぎ

宮城県内の家庭における省エネ行動の促進を図るため、家庭のライフスタイルに合わせた省エネ・省CO_2対策のアドバイスを行なう公的資格として環境省が認める「うちエコ診断士」。この資格取得を目指す方のための「うちエコ診断士等養成研修」を開催し、資格試験に向け1回目はテキスト解説、2回目はロールプレイングを中心に行いました。講師の川原さんからは試験への具体的なアドバイスなどをお話しいただき、受講者の方にとって大変参考になったようです。また、受診者が信頼を寄せ、省エネ対策行動実施に繋げるためにも対等に接するなどといった「コミュニケーション力」がうちエコ診断士にとって重要なスキルになります。

診断ソフトの使い方をアドバイスする講師の川原さん

8月に筆記・実技試験が行われ、合格した方は10月から新規のうちエコ診断士として活動を開始。さらに、受講者の方は地球温暖化防止活動推進員として来年度に委嘱を受ける予定です。推進員としての活躍も楽しみです！

お互いが診断士、受診者となって
ロールプレイングをしました

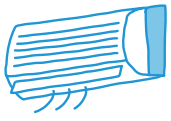
うちエコ診断実施中！（診断無料）
実施期間：2015年7月1日～ 2016年2月中旬
実施件数：165件（定員に達し次第締切）
申込み・問合せ先：
ストップ温暖化センターみやぎ（022-301-9145）まで。
※ウェブで簡単に申込が可能です。「家庭エコ診断制度」で検索！

やってみよう！家庭でできるECO Action ！

秋から冬にかけて使用が増える「暖房」と「給湯」。6ページのグラフからも、宮城県の家庭におけるCO_2排出分野の第2位、3位を占めています。

過去宮城県にて実施したうちエコ診断の結果をもとに、家庭で取り組みやすい（=取り組んだ方が多かった）対策をまとめました。

家庭のライフスタイルに合わせ、無理なくできる省エネ対策から始めてみましょう！



暖房

居間の暖房時間を1日1時間短くする

石油ストーブの場合　年間で約1,400円の節約
エアコン暖房の場合　年間で約1,700円の節約

リビングの暖房の設定温度を控えめにする

石油ストーブの場合　年間で約1,600円の節約
エアコン暖房の場合　年間で約2,000円の節約

給湯

節水シャワーヘッドを取り付けて利用する

ガス　年間で約15,200円の節約
水道　年間で約14,000円の節約

シャワーを使う時間を1人1日1分短くする

ガス　年間で約7,600円の節約
水道　年間で約7,000円の節約

シャワーを使う時間を３割短くする

ガス　年間で約22,860円の節約
水道　年間で約21,020円の節約

【金額換算係数】
電気29円/kWh、ガス180円/m^3、灯油90円/L、ガソリン130円/L、水道480円/m^3

家庭の中にも潜んでる? 神経毒性殺虫剤ネオニコチノイド MELONでアンケート調査を開始

農薬問題は過去のお話し、そう思っている方もいるかもしれません。

今、国際的に問題となっているのは、最近その効果の高さと持続性から広まっているネオニコチノイド系農薬です。田んぼや畑だけでなく、山林や建材、家庭用の殺虫剤、ペットのノミ駆除剤などにも使われています。神経毒性の強い殺虫剤で、害虫への効果だけでなく、人への影響も懸念されています。

MELONでは今年、その認知度を調べ、不使用を拡げていくためにできることを探る目的でアンケート調査を行ないます。

一人でも多くの方のご協力をお願いします! MELONのWEBサイトからダウンロードできる他、郵送、FAXでもお送りしています。

MELONで取り扱い中!

売り上げの一部がMELONの環境活動に活用されます

タイニーライト・ナノ発電所セット

40W高出力太陽光発電パネル
大容量充電式バッテリー（75,000mAh）
セット価格59,400円（消費税・送料込）

別売りアクセサリー
ナノ発電所用インバーター　4,082円（税込）

※詳しくはこちら（PDFチラシ）
http://www.melon.or.jp/melon/img/paper14/sorabeapaper.pdf

編集後記

■イベントで、硬度の異なる水の飲み比べをしました。暮らしのすべての根本である水、それが違うことで食文化も暮らし方も違うことに、みなさん驚いていたのが印象的でした。（廣重）

■5期より食部会のメイン担当となりました。これまでもサブ担当として食に関係するさまざまな人たちと交流してきました。そこで感じた知識不足。これから勉強していきたいと思います。（菅原）

■8月に部屋の片づけをしました。ため込んでいた紙類は、可能な限り「雑紙」としてリサイクル。部屋も気分もスッキリです! （高橋）

MELON イベント情報

これから開催を予定しているイベント・会議をご紹介します。

各イベント参加者を募集しています。詳しくはMELON事務局までお問合せください。

※会員以外の方も参加できます。

9/5（土）	「長町紙芝居フェスティバル」に出演
9/6（日）	「エコフェスタ 2015」にブース出展
	「はやぶさまつり」にブース出展
9/12（土）	「第 20 回 MELON 会員と市民のつどい ～ MELON フェスタ～」開催
9/15（火）	MELONcafe　例会
9/19（土）	水部会　例会
9/23（水・祝）	「魅力いっぱい! 交通フェスタ 2015」にブース出展
9/26（土）	MELONcafe プチ講座 「オシャレで簡単♪着物のカードケース作り」開催
	「エコドライブセミナー」開催
9/30（水）	仙臺農塾 Vol.4　第 1 回「野生を味わう ～ジビエを通して見える森と人の関係～」開催
10/4（日）	「しちがはま環境フェスタ」にブース出展
10/6（火）	食部会　例会
10/8（木）	4R 推進部会　例会
10/10（土）	「地産地消の納豆作り＆自家製酵母のこだわりパンを楽しむ in 角田」開催
10/11（日）	「りふ環境まるごとフェア」にブース出展
10/17（土）	「秋の森で遊ぼう! in 川崎町貸森林」開催
10/24（土）	仙臺農塾 Vol.4　第 2 回大人の遠足・桂島編 「松島湾の牡蠣料理と島歩き」開催
10/25（日）	「Wa わぁ祭り」にブース出展
	「地球フェスタ」にブース出展
10/31（土）	MELONcafe プチ講座 「古着をリメイク♪ネコのブローチ作り」開催

※日程や内容の変更、上記以外にもイベント開催する場合があります。ご了承ください。

〈会員状況〉
681 名
法人　67
任意団体　13
個人　601
2015 年 7 月 31 日現在

ボランティアポイントカード制度をご活用ください

会員の方には、「MELON ボランティアポイントカード」を発行しています。部会・プロジェクトの例会出席、作業やイベントでのお手伝いをすると、1 ポイント差し上げます。5 つ貯まると 1,000 円分の MELON 協力商品券と交換できます。

MELON 協力商品券とは

みやぎ生協、日専連仙台で発行している商品券です。金額の一部がMELONに寄付され、環境保全活動にいかされます。宮城県内の日専連加盟店及びみやぎ生協の各店舗でご利用になれます。

発行元　公益財団法人　みやぎ・環境とくらし・ネットワーク（MELON）Miyagi Environmental Life Out-reach Network
〒 981-0933　仙台市青葉区柏木 1-2-45 フォレスト仙台 5F
★事務局　TEL 022-276-5118　FAX 022-219-5713
★情報センター　TEL 022-301-9146　FAX 022-219-5713
★ストップ温暖化センターみやぎ　TEL 022-301-9145　FAX 022-219-5710
E-mail melon@miyagi.jpn.org　URL http://www.melon.or.jp/melon/

RICE INK
この印刷物は、輸送マイレージ低減による CO_2 削減や地産地消に着目し、国産米ぬか油を使用した新しい環境配慮型インキ「ライスインキ」で印刷しており、印刷用紙へのリサイクルが可能です。
※ MELON 情報紙は再生紙を使用しています。